

災害安全

～実践的な防災教育の推進～

岩手県立図書館館長

岩手大学地域防災研究センター客員教授

森本 晋也



独立行政法人教職員支援機構

目次

- 1 はじめに
- 2 震災を生き抜いた子どもたちに学ぶ
- 3 防災教育の推進のポイント
- 4 おわりに

1 はじめに

我が国の状況

首都直下地震、南海トラフ巨大地震、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震、頻発化・激甚化する豪雨や台風などの気象災害、火山災害など

計り知れない自然災害のリスクに直面



「第3次学校安全の推進に関する計画」(令和4年3月25日閣議決定)

【課題】

- ・ 学校安全計画や危機管理マニュアルの実効性
- ・ 東日本大震災の教訓の風化

- 事前の学校防災の体制強化
- 地域の災害リスクを踏まえた実践的な防災教育の推進

2 震災を生き抜いた子どもたちに学ぶ

岩手県



釜石市



震災前の釜石東中学校

大槌湾の根浜海岸のすぐ近く
鵜住居小学校が隣接

2 震災を生き抜いた子どもたちに学ぶ

釜石東中学校

鵜住居小学校



2 震災を生き抜いた子どもたちに学ぶ



2 震災を生き抜いた子どもたちに学ぶ

山がくずれている。
さらに高いところへ、
にげよう



第一避難場所(ございしよの里)



写真提供 高村幸男氏

第二避難場所へ避難
さらに高いところへ避難！

2 震災を生き抜いた子どもたちに学ぶ



第二避難場所からさらに高台へ

写真提供 浦山 文男氏

2 震災を生き抜いた子どもたちに学ぶ

釜石東中学校の防災教育（2009年度～2010年度）

【防災教育のねらい】

1. 自分の命を自分で守る

～津波・地震の知識を身につけ、避難できる生徒の育成～

2. 助けられる人から助ける人へ

～家族・地域社会の一員としての自覚を高め、行動できる生徒の育成～

3. 防災文化の継承

～防災文化の継承者の育成～

2 震災を生き抜いた子どもたちに学ぶ

釜石東中学校防災教育プログラム 「EAST-レスキュー」

East : 東, Assist : 手助けする,
Study:勉強する, Tsunami : 津波

| | 1年生 | 2年生 | 3年生 |
|----|--|--|---------------------------------|
| 共通 | 防災オリエンテーション、小・中合同避難訓練、小・中合同地区集会、防災ボランティアスト、地域の避難訓練 | | |
| 教科 | ゆれる大地(理科) 耐震技術(技術) 地域調査(社会) 防災ポスター(美術) 他 | 自然災害(社会) 災害に備える(保健) 安全対策(家庭) 防災ポスター(美術) 他 | 地域での支え合い(社会) 防災ポスター(美術) 他 |
| 総合 | 「てんでんこ」 (体感学習、フィールドワーク、ビデオ制作、率先避難) | 「Tsunami」 (津波防災館訪問、防災ボランティアストの劇化) | 本所防災館訪問 |
| 道 | 「災害ボランティア」 (道) | 「避難しない人の心理」 (学) | 「語り伝えよ」(道) |

2 震災を生き抜いた子どもたちに学ぶ



1 学年総合
【てんでんこレ



★主体的に活動した教育内容が、より強く印象に残っている

避難するときには、火元の確認、カギの確認を



1 学年総合
【津波の高さ・速さ・地震の揺れの体感】



1 学年総合
【フィールドワーク】

しました。

には
に

【安否札】

2 震災を生き抜いた子どもたちに学ぶ

印象に残った理由

課題意識の向上

自己関与 興味関心

- 津波の危険が自分に来るかもしれない
- 自分の周りのことと関係する
- 過去の津波被害の場所が自分の知っている場所である
- 地域を歩いて、本当に津波が来たらどこへ逃げるのかと思った
- 自分の目で見て歩くことで、津波被害を想像した
- グループでマップを見ながら、津波が来たらどうする考えた。人ごとではない
- てんでんこレンジャーの映像内容と実生活が同じ。生活の中に組み込まれている

興味関心

- 他の人の発表を聴いて興味があった
- 友人が出演していて関心をもった

映像教材のインパクト

- 津波の映像は貴重。今まで見ることがなかった
- 映像は具体的に分かりやすい

基礎知識の習得

- 地震津波の発生確率を知った
- 地震津波の知識をざっくりと教えてくれたので危機感をもった

学外・社会への展開

家族と話し合う

- てんでんこの教を家族と話し合った

地域とのつながり

- 地域の人とつながりができた
- 自分から地域の人に関わっていった
- 地域の人を巻きこんだことで、挨拶やつながりができた
- 地域の防災意識の高まりに関わることができた

学外への発信

- DVD映像を他の地域で配布した
- 自分たちが制作した映像を親も見た
- 文化祭で展示したことで、地域の人にも目にした
- 映像を発信して伝えることができた

学習の主体性

価値・目標の共有化

- 「助けられる人から助ける人へ」を学び、みんなで助けたいと思った
- 人のために役立つなど、学習の目標が実感できた

学習経験のつながり

- 小学校での学習と連動し、点と点がつながった
- 祖母からの話が、実物の資料で確認され、印象に残った
- 小さい頃は分からなかったが、中学校で理解できた
- てんでんこの教え通りに避難して、学んだことが実証された

自分で考える

- 自分たちでやると、考えるので印象に残る
- 自分で調査した学習だから
- 自分で調べて書くことで記憶に残る
- 過去の津波被害を調べてポスターで発表した

自発性

- 楽しみながら上を目指すなど、自主的にできた（EASTレスキュー制度）

体験・表現・想像

- 映像制作の際、台詞を覚えたことで、語り継ぐことが頭に入った
- 津波の速さの体験が高い所への避難の意識づけになった
- みんなで廊下に縦に並んで寝て、津波の高さを表現し想像した

学習経験の反復

学習経験の反復

- 避難訓練が繰り返されたことで意識が強まった
- 避難訓練は慣れること

自己肯定感

学外からの評価 達成感

- 安否札を実際に使ってくれた
- 学外のイベントで大々的に取り上げてもらい認められた
- 真剣に感想を書いたのを賞えている

学校・教員側の課題意識

教員の熱意

- 中学校では先生の真剣さが伝わってきた。力の入れ方が高校とは違う

3 防災教育の推進のポイント

(1) 地域の災害リスクを把握

- 自治体や国交省のHP等…最新のハザードマップ
 - 「地理院地図」…地形の形態や成り立ち、性質
 - 「地域防災計画」…地域の自然的・社会的環境
主な災害の履歴、災害シミュレーション（被害想定）など
- ➡ フィールドワーク
- ➡ DIG（Disaster, Imagination, Game）

など

3 防災教育の推進のポイント

(2) 防災教育の目標

「生きる力」
参照ページ

P 27

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

安全に関する様々な課題に関心をもち、主体的に自他の安全な生活を実現しようとしたり、
安全で安心な社会づくりに貢献しようとしたり
する態度を身に付けていること。

生きて働く知識・技能の習得

様々な自然災害や事件・事故等の危険性、安全で安心な社会づくりの意義を理解し、安全な生活を実現するために必要な知識や技能を身に付けていること。

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

自らの安全の状況を適切に評価するとともに、必要な情報を収集し、安全な生活を実現するために何が必要かを考え、適切に意思決定し、行動するために必要な力を身に付けていること。

発達の段階に応じた安全教育の目標

「生きる力」
参照ページ

P 28

高等学校

安全で安心な社会づくりの意義や、地域の自然環境の特色と自然災害の種類、過去に生じた規模や頻度等、・・・・、地域社会の一員として自らの責任ある行動や地域の安全活動への積極的な参加等、安全で安心な社会づくりに貢献・・・。

中学校

地域の安全上の課題を踏まえ、交通事故や犯罪等の実情、災害発生のメカニズムの基礎や様々な地域の災害事例、日常の備えや災害時の助け合いの大切さを理し、・・・・地域の安全にも貢献できるようにする。また、心肺蘇生法等の・・・・。

小学校

安全に行動することの大切さや、「生活安全」「交通安全」「災害安全」に関する様々な危険の要因や事故等の防止について理解し、・・・・、周りの人の安全にも配慮することができるようにする。また、簡単な応急手当が・・・・。

幼稚園

日常生活の場面で、危険な場所、危険な遊び方などが分かり、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付けることができるようにする。
また、災害時などの行動の仕方については、・・・伝えることができるようにする。

特支

児童生徒等の障害の状態や特性及び発達の程度等、さらに地域の実態等に応じて、安全に関する資質・能力を育成することを目指す。

(3) 教科等横断的な防災教育

安全教育の目標

安全に関する資質・能力を**教科等横断的な視点**で確実に**はぐくむ**

カリキュラム・マネジメントの確立

学校安全計画の作成

- 自助、共助、公助の視点
- 内容のつながりを整理し教育課程を編成
- 家庭・地域との連携・協力体制
- 系統的・体系的な計画 ○校種間の連携
- 安全教育と安全管理との関連
- 全教職員の共通理解 など

児童生徒等や学校、地域の実情を踏まえ

組織的・計画的に

人的又は物的な体制の確保

D

学校教育全体を通じた指導

- 安全教育の効果を高めるための手法

C

取組状況の把握・検証

- 各種データの把握・分析

A

改善・見直し

- 教育課程の改善へ

防災を含む安全に関する教育 (現代的な諸課題に関する教科等横断的な教育内容)

小学校

日常生活

特別の教科 道徳

理科

体育科

社会科

図画 工作

生活科

【第5学年及び第6学年】
A 主として自分自身に関すること
[節度, 節制]
健康や安全に気を付けることや…。
[生命の尊さ]
…生命を尊重すること。

【第5学年】
流れる水の働きと土地の変化
天気の変化
【第6学年】
土地のつくりと変化

【第4学年】
自然災害から人々を守る活動
【第5学年】
国土の自然環境と国民生活

【学級活動】
(2)ウ心身ともに健康で安全な生活態度の形成
【学校行事】
(3)健康安全・体育的行事

特別活動

総合的な学習の時間

総則

家庭科

| 総則 | 体育科 | 特別の教科 道徳 | 理科 | 生活科 |
|--|---|---|---|---|
| 第1章 総則 第2条 学校における体育・健康に関する指導を、児童の発達段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うことにより、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指す教育の充実に努めること。特に、学校に関する食育の推進並びに体力の向上に関する指導、安全に関する指導及び心身の健康の保持増進に関する指導については、体育科、家庭科及び特別活動の時間をもとに、各教科、道徳科、外国語科、総合的な学習の時間等と連携して行うこととする。 | (第5学年及び第6学年) A 体づくり運動 (3) 運動に積極的に取り組み、仲間との協力や取組を認めたりすること。 ※「B 地域運動」、「C 勝つ運動」、「F 表現運動」は、第5学年及び第6学年の児童の発達段階に合わせた指導を行うこととする。 | (第1学年及び第2学年) A 命の尊厳を大切にする。生命や自然、崇高なものや美しいものに関心を持ち、大切にすること。 B 命の尊厳を大切にする。生命や自然、崇高なものや美しいものに関心を持ち、大切にすること。 C 命の尊厳を大切にする。生命や自然、崇高なものや美しいものに関心を持ち、大切にすること。 | (第4学年) A 流れる水の働きと土地の変化 B 天気の変化 C 土地のつくりと変化 D 国土の自然環境と国民生活 | (第3学年) A 国土の自然環境と国民生活 B 自然災害から人々を守る活動 C 国土の自然環境と国民生活 |
| 第3条 道徳教育に関する配慮事項 道徳教育を進めるに当たっては、道徳教育の特質を踏まえ、前項までに示す事項に加え、次の事項に配慮するものとする。 学校や学級内の人間関係や環境を整えるとともに、集団宿泊活動、ボランティア活動、自然体験活動、地域の行事への参加などの豊かな体験を充実させること。また、教育の指導内容が、児童の日常生活に生かされるようにすること。 | (第5学年及び第6学年) B 食生活の改善 次の(1)～(4)の事項を身に付けること。 (1) 健康・安全に気を付けること。 (2) 節度・節制を身に付けること。 (3) 健康・安全に気を付けること。 (4) 健康・安全に気を付けること。 | (第1学年及び第2学年) A 命の尊厳を大切にする。生命や自然、崇高なものや美しいものに関心を持ち、大切にすること。 B 命の尊厳を大切にする。生命や自然、崇高なものや美しいものに関心を持ち、大切にすること。 C 命の尊厳を大切にする。生命や自然、崇高なものや美しいものに関心を持ち、大切にすること。 | (第6学年) B 生命・地球 C 土地のつくりと変化 D 国土の自然環境と国民生活 | (第6学年) A 国土の自然環境と国民生活 B 自然災害から人々を守る活動 C 国土の自然環境と国民生活 |
| 第4条 総合的な学習の時間 総合的な学習の時間は、児童が主体的に学習活動に取り組むことにより、知識・技能の習得、思考力・判断力・問題解決能力の育成、責任感や達成感の醸成、体力の向上などに資するようにすること。 | (第5学年及び第6学年) C 健康・安全に気を付けること D 健康・安全に気を付けること | (第1学年及び第2学年) A 命の尊厳を大切にする。生命や自然、崇高なものや美しいものに関心を持ち、大切にすること。 B 命の尊厳を大切にする。生命や自然、崇高なものや美しいものに関心を持ち、大切にすること。 C 命の尊厳を大切にする。生命や自然、崇高なものや美しいものに関心を持ち、大切にすること。 | (第1学年及び第2学年) A 命の尊厳を大切にする。生命や自然、崇高なものや美しいものに関心を持ち、大切にすること。 B 命の尊厳を大切にする。生命や自然、崇高なものや美しいものに関心を持ち、大切にすること。 C 命の尊厳を大切にする。生命や自然、崇高なものや美しいものに関心を持ち、大切にすること。 | (第3学年) A 国土の自然環境と国民生活 B 自然災害から人々を守る活動 C 国土の自然環境と国民生活 |

3 防災教育の推進のポイント

(3) 教科等横断的な取組

特別活動

- 学級活動・ホームルーム活動
- 学校行事
- 児童会・生徒会活動

実践的な集団活動を通して

各教科等では
ぐくまれた資
質・能力

- 総合的・汎用的な力に変える
- 実生活や実社会で活用できるようにする

例) 自然災害や防災に関する知識

例) 学校行事 (避難訓練)

理科

社会

各教科での学習の意義・意欲

3 防災教育の推進のポイント

指導参考資料集

実践的な 防災教育の手引き

令和5年3月

小学校編

より実践的な避難訓練のために ～避難訓練の改善事例～

避難訓練改善の必要性

過去に起きた地震災害では、恐怖で動けなくなったり、立て続け余震で不安が高まって過呼吸や嘔吐が連鎖していったり、階段や校庭で転倒したりする親子がいたことが確認されています。余震の発生や停電、悪天候の状況を想定せずにただ漫然と校庭に集合する避難訓練では、現実の大地震に対応できません（「第3次学校安全の推進に関する計画」にも明記）。

そこで、特に津波がないような地震に対してどのように避難訓練を改善したらいいのか、難易度別に事例を紹介します。必要な教材も付けていますので、ご活用ください。

こんな訓練やっていませんか？

- 教師が指示をしてから机の下に入る**
「地震です。机の下に入りましょう」と教師が指示をしてから、子供たちが行動していませんか。立っている教師より先に、座っている子供たちが揺れに気付くはずです。教師の指示なく、身を守る訓練をしましょう。
- 余震が発生することを想定していない**
大きな地震が直下で起これば、必ず余震を伴います。直後ほど何度も立て続きます。校庭集合のために階段を大人数で急いで移動するのは、集団での転倒につながる危険な行為となりかねません。
- 耐震性のある校舎をわざわざ出て校庭集合**
耐震化した学校で崩壊した校舎は過去にありません。子供たちを急いで校庭に出そうとして、階段での転落や昇降口でのけがのリスクを高めていませんか。津波避難などの理由がなければ、教室内待機で安否確認をしましょう。
- 集合までにかかった時間が評価になっている**
「揺れから命を守る」部分こそ大事な訓練項目です。場所や状況に応じた身の守り方や繰り返す余震への対応を第一に評価しましょう。

3 防災教育の推進のポイント

(4) 「防災をとおした教育」

- 災害時に自分と周囲の人の命を守ることのできるという効果
- 児童生徒等の主体性や社会性、郷土愛や地域を担う意識を育む効果、地域の防災力を高める効果への期待
- 自然がもたらす恩恵、地域に対する理解を深めること
など

3 防災教育の推進のポイント

(5) 効果的な教育手法

●民間企業・団体等の教育プログラムの活用、体験を通じた学びやデジタル技術（AR体験・VR体験）を活用など → 内閣府「防災教育チャレンジプラン」

●主体的に行動する態度や危険を予測し回避する能力の育成、安全で安心な社会づくりに貢献する態度を高める教育手法、カリキュラム、評価方法の開発

(6) 家庭・地域等との連携・協働

●地域学校安全委員会、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動などの仕組みの活用、地域の多様な主体（町内会や消防団等）や家庭等との連携・協働

文部科学省×学校安全

- 文部科学省の学校安全に関する施策をまとめたポータルサイト。
- 事務連絡や研修会などの最新情報とこれまでの取組事例、調査結果などを掲載。
- 都道府県や他省庁が作成した学校安全関係資料も掲載。

「危機管理マニュアル作成の手引」など
学校安全資料



文部科学省作成資料・ 取組・事業

学校安全推進のための参考資料や、全国で実施している取組・モデル事業等を掲載。

- > 学校安全参考資料
- > 映像資料
- > 全国での取組・モデル事業



今月のニュース

学校安全に関する全国を取組や、文部科学省からのお知らせなどを紹介。

- > 令和元年8月号 職員だより
- > バックナンバー

文科省からのお知らせを毎月更新



表彰制度

内閣総理大臣表彰や文部科学大臣表彰、その他関係省庁が実施している学校安全コンクールを紹介。

- > 安全功労者内閣総理大臣表彰
- > 学校保健・安全文部科学大臣表彰

学校安全
功労者の紹介



研修会情報

防災教育、学校安全に関する公開授業・セミナーの開催情報を紹介。

- > 健康教育・食育行政担当者連絡協議会
- > 全国学校保健・安全研究大会
- > 学校安全総合支援事業
- > 学校安全教室推進事業
- > 都道府県・政令市・特別区・セミナー

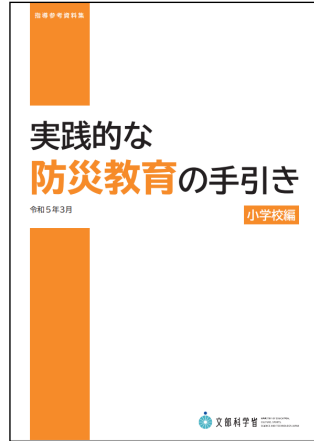
都道府県の研修会
情報や文科省主催の
研修会資料

「学校安全ポータル
サイト」で検索！

文部科学省 《学校安全参考資料》



「生きる力」をはぐくむ
学校での安全教育
(平成31年3月)



実践的な防災教育
の手引き
(令和5年3月)



東日本大震災の教訓を
語り継ぐ動画教材
(令和4年4月)

教職員の
ための
学校安全
e-ラーニン
グ

教職員のための
学校安全e-ラーニング
(令和4年12月改訂)



学校の『危機管理マニ
ュアル』等の評価・見
直しガイドライン
(令和3年6月)



学校の危機管理
マニュアル作成の手引き
(平成30年2月)



学校防災マニュアル
(地震・津波災害)
作成の手引き
(平成24年3月)



【小学生版リーフレット】
(令和3年4月)

我が国のおかれている状況



いかなる状況下でも生き抜く力
災害を乗り越え次代の社会を形成する力